

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	子どものイマジネーションの連続性・偏向性 : 子どもにとっての境界領域
Author(s)	中川, 節子; 關, 新市郎
Citation	児童の言語生態研究 , 16 : 106 - 111
Issue Date	2004-02-10
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045197
Right	
Relation	



4年生

本会公開授業

授業レポート

子どものイマジネーションの連続性・偏向性

——子どもにとつての境界領域——

■教材 『はまべのいす』 山下明生

中川 節子
關 新市郎

一、日時

平成十年八月二十日（木）
午前十時十分～十時五十五分

二、児童

静岡県加茂村立安良里小学校 四年
関新市郎学級（男子五名 女子七名）

三、授業形態

児童の言語生態研究会会員によるチームティーチング

四、授業テーマ

子どものイマジネーションの連続性、偏向性を知るための研究授業

五、領域

感情

六、テーマ設定の理由

子どものイメージは一枚の絵のように固定化されたものではなく、次から次へと流れていく。その流れそのものを「イマジネーションの連続性」と本会では名付けているが、この流れ方には偏向性が伴い、その偏向性故に、個性にもなりうると考えている。

その偏向性が自分自身の時間・空間のイマジネーションを癖として縛り上げる子どももいれば、新しい刺激を受けることで、時間・空間の転換が自在となり、自分のイマジネーションを更に伸ばす子どももいる。今回の授業では、ある設定された場面に於いてイマジネーションの胎動、あるいは動向がどこまで広がるのか、又そこに連続性や偏向性が個々の子どもによってどのように発揮されるのかを見届けようとするのである。

授業では「すなはま」「いす」「海」といった子どもたちの潜在世界と接触するための言葉をキーワードとして用い、それを窓から見ている「ひろ君」を場面と

して設定する。その場面設定の中にはイマジネーションの発動のための装置として「窓枠」を用いる。枠による空間の限定は視野と視点を定めることになる。視野と視点が定まることによつて、そこに別次元が成立する。従つて潜在世界からの投影即ちイマジネーションの触発が期待されるのである。

また「夕日」や「闇」を子どもたちに提示するのは、子どものいのちの発露を潜在世界に求めようとしているからである。

七、本時の目標

設定された場面から思いつくイマジネーションの動きを次から次へと話す

学習活動	学習への支援 ※観察の視点
<p>一、本時の学習を知る</p> <p>二、だれがおいていったのか、すなはまに、いすがぼつんとありました。ところどころペンキのほげた白いいすです。いすはだれかをまつように、じつと海を見ています。病院のベッドの上でひろ君もずつといすを見ています。(すなはま、いす、海)山下明生 光村3上)</p>	<p>○設定された場面から思いつくイメージーションの動きを次から次へと話すこと</p> <p>設定された場面を意識させるために窓わくを使用し説明をする。</p> <p>1、窓わくを使用し設定された場面を確認する。</p> <p>2、一度読んだあと、どんな場面が残っているか言ってもらい窓わくにいすの配置をし、ひろ君の視点の動かないことを確認する。(すなはま、いす、海、ひろ君の視点)</p> <p>○第一段階としてこの場面より触発されたイメージーションの動きをできるだけたくさんの子どもが話すように支援する。</p>

<p>三、ひろくんは夕日を見ています。</p>	<p>このあと頭に浮かんだイメージーションの動きをとまらないように話す。</p>	<p>四、夜になりました。</p> <p>このあと頭に浮かんだイメージーションの動きをとまらないように話す。</p> <p>五、このあとどうなるか、頭に浮かんだイメージーションの動きを話を話す。</p> <p>六、まとめ(感想を言う)</p>
<p>○窓わくを利用し、設定された場面に夕日という時間経過を入れていることをおさえる。(すなはま、いす、海、夕日、ひろ君の視点)</p>	<p>*夕日が入ることによりトランスフォーメーションがおこるか。</p>	<p>○窓わくを利用し、設定した場面に夜のやみがきたことをおさえる。(すなはま、いす、海、夜、ひろ君の視点)</p> <p>*夜が入ることによりトランスフォーメーションがおこるか。</p> <p>*今まで自分が考えていたイメージーションの動きの延長上で考える子</p> <p>●トランスフォーメーションを起こすことができる子</p> <p>●朝にもどる子</p> <p>●夢の世界に入る子 など</p>

授業記録	
<p>●設定された場面から思いつくイメージーションの動きを次から次へと話すことができたか。</p> <p>●時間経過に伴うことばを出すことによってトランスフォーメーションができたか。</p>	<p>Tn 一緒に勉強したいと思います。勉強といつてもね、頭の中に浮かんできたことをお話ししてもらいますね、いいですか。ちょっと練習しますよ。目をつぶって目をつぶって…。はい、お母さんを思い浮かべてください。お家の人のことを思いだして下さい。さあ、どんなことが頭の中に浮かんで来たかな？ 出た？</p> <p>Ca (目をつぶって) 怒りっぽい。お父さんもお母さんも怒りっぽいよ。</p> <p>Tn ほかに？</p> <p>Ca たばこを吸うしね。おばあちゃんでもいい？おばあちゃんはやさしい。</p> <p>Tn ほかにないかな。思いついたことを言えばいいんだよ。はい、もう一回目をつぶって。今度はちがうことを思い浮かべてみよう。「関先生」、はい「関先生」は出てきたかな？ 関先生を思い浮かべてみてください。</p> <p>Ca (周囲に向かってしきりに) あれ言えば、あれ。じゃあ、君。</p> <p>Tn 「太鼓オタク」</p> <p>Ca 関先生、太鼓上手なのかな？</p> <p>Tn 「太鼓」と「禪男」。「禪男」に「太鼓オタク」</p> <p>Ca 「禪男」ってひょっとして「禪」のこと？</p>

Ca そうなんだよ。いつも禪をしめているんだよ。
Tn もう一つ聞こえなかったけど。

Ca 「太鼓オタク」いつも太鼓ばかりやっているんだ
もん。

Tn このクラスで太鼓やっている人はいる？

Cc ぼく、関先生に太鼓を教わっている。

Tn はい、いいかな、そういうふうだね、今日はね、
頭の中に浮かんできたことをお話ししてくれば
いいのよ。いいかな。難しそうだな？ 大丈夫そ
う？ じゃあね、ちよつと紙を。(模造紙を黒板
に貼る) みんなで読んでもらおうかな。先ず、先
生が読みますからね。ちよつと聞いていてね。

だれがおいていったのか、砂浜に、いすがぼつ
んとありました。ところどころペンキのはげた
白いいすです。いすはだれかをまつように、じつ
と海を見えています。病院のベッドの上でひろ君
もずつといすを見えています。(黒板に掲示)

Tn わかったかな？ じゃあみんな読んでみようね。

C (揭示物を音読)

Tn いいかな、わかったかな。だいたい。だいたい場
面が思い浮かぶかな？ じゃあ本当に思い浮かぶ
かちよつと目をつぶってみてください。今の場面
で何が出てきましたか？

Ca いす。

Tn いす…。それから？

Ca ひろ君。

Tn ひろ君。それから何がでてきた？

Cd 海。

Ca ペンキ。
Tn ペンキも出てきた？ 他に？

Ca ベッド。
Tn あつ、ベッドも出てきた。

Ca 病院も出てきた。

Ce 砂浜。

Tn 砂浜も出てきた。すごいなあ。じゃ、目を開けて
みて下さい。じゃあね、病院のベッドの上でひろ
君もずつといすを見えています。つていうんだか
ら、ひろ君といすとの間には何かあるんだよね。
何があるんだと思う？

Ca ガラス。病院の窓。

Tn (額縁を出して)これ、病院の窓です。いいかな？
そして何が出てきたつけ？ 病院の窓からいすが
見えました。(椅子の工作模型を出す)いすはどっ
ちに向いているのかな？

Ca 海の方。

Tn 海の方だね。こんな感じでもいいのかな？

Ca でも、安良里の海は(海の方を指さして)あつ
ちだよ。

Tn おうおうおう。じゃあボク出てきてごらん。やり
直して。(Caがいすの位置を模型を使い操作して)

Tn そうだね。あと何があつたつけ？

Ca ひろ君。ベンチじゃない。ベッドの上にいる。

*この児童は早くもこの授業の設定がわかりどんどん
リードしていった。

Tn ベッドとひろ君はどこにあるのかな？

C ……

Ts b子さん、どう？

Cb 意味が全然わかんないよ。

*まだ設定がわからずふてくされてる。今までやつ
た授業と形態が異なるのでとまどいがある。

Tn 難しいんだね。さっきお話しした中であつたよ
ね。お話しした中のことを頭に思い浮かべてくれ
ればいいんだよ。他にどうですか？ ひろ君、ど
こにいるのかわかる？

Cc 病院のベッドの上。

Tn うん、病院のベッドの中だね。じゃ、場所はどこ
になるのかな？どこにいるのか教えてくれるか
な？(Cbを前に出してきて)あなたひろ君の場所
どこだと思う？

*わからないを連発していたb子さんを指名し場面設
定の位置づけを手伝ってもらおうと、横を向いていた

b子さんが徐々にこちらを向いてきた。

Cb (額縁のそばに立つて)ここ。
Tn こっち側だね。(Cbを返す)わかったかな。こっ

Tk ち側(額縁の正面)にいます。
この、ちよつと病院に花を置きましょう。(バラ

の花瓶を持ってきて)病院の窓だからこのへんに
なるかな。みんなは病院にいるんだよ。

Tn そして、ひろ君になって。そしたらいすがあつて

そして何があるのかな？

Ca 海。

Tn 海があつて、そして…

Ca その前に、いすの下に砂浜があるよ。
Tn おお、砂浜がある。砂浜のところにいすがちよん
と置いてあるんだよね。そしてその向こうが海
だったんだよね。b子ちゃんもわかったね。そう

いう場面なんだ。いいかな？そしたら今度はみん
ながひろ君になって、このあとちよつとね、頭に
浮かんだことをお話ししてもらいたい。

「だれがおいていったのか、砂浜に、いすがぼつんとありました。とどこどころペンキのはげた白いすです。いすはだれかをまつように、じつと海を見えています。病院のベッドの上でひろ君もずつといすを見えています。」

Ca はい、そのあと頭に何か浮かんできた？

Tn ずうっと見ていたけど、何も起こらなくて、何もつまらなかつた。

*設定はできたが、その後の思いをのぼしていくことは難しい。

Tn え、え、すごいね。そういうのでいいんだよ。少しずつ、少しずつ…いっぱい思い浮かべていってください。こんなの出たよっていう人？ お話になっちゃったっていいんだよ。

C ……

Tn じゃあねえ、ここをちよつと見てください。「いすはだれかをまつように、じつと海を見えています。」って書いてあるけれども、いすは誰を待っているのかな？

Ca ひろ君。ひろ君が退院するのを…。

Tn あっ、ひろ君が退院するのを待っているんだ。そうかもしれないね。そしたらちよつと見てね。ほら、ずうつと見ていた。何も起こらない、つまらないって君は言ったけど、何も起こらなくはないじゃない。

Ca 今のところはそうなの。

Tn でも今は少し思い浮かんだんじゃない？

Cc ひろ君は退院したから嬉しかった。

Tn あっ、ひろ君は退院したから嬉しかったんだ。今はベッドの中なんだけれども、退院したら嬉しいなって思ったんだね。他にないかな？ 誰を待つ

ているんだろうなあ。

Ca ひろ君。

*自分自身がひろ君になり切れない。

Tn ひろ君を待っているんじゃないか、か。君はひろ君だと思っただよ。でもひろ君じゃなくなつたっていいんだよ。

Ca ひろ君のお母さんだつていいんだよ。

Tn そう、ひろ君のお母さんだつていいんだよ。じゃあさっきのひろ君の話を続けてもらおうかな？

Ca つまらないけど、ぼくが退院したらすごく喜んでくれる。

Tk (板書を整理して) じゃ、それはここにしちゃうよ。(と、退院という言葉を黒板の後の方へ移動) だつて、これで終わっちゃうじゃない。

Tn ひろ君(ベッドのある側を指さして) ここにいるんだけどベッドの中にいるから(外の景色が見えるんじゃないの？病院に(ひろ君がいるから)窓から見えるんだよ)ね。

Tk (これまでの発表を見て) こう言ってくれてこっちに行っちゃったら、つまらないよ。

Tn もうちよつとお話してみて。さあ、だれがいつに来たのかなあ…。広い浜のところにいすがぼつんとあつて…。さあ、誰が来たかなあ…。

Ca いすの思つた気持ちで言つと、つまらないと思つた。

Tn いすの思つた気持ちね。いすがつまらないなあ、つて思つたんだつて。そうだよ。だつてまだ、だあれも来てくれないんだもんね。そのあと続けて…。

Ca そしたらひろ君のお友達とかが、いすにすわつて

くれた。

Tn どんどん言つてみて。ひろ君のお友達がいすにすわつてくれた。いすはどうなつたと思う？

Ca とてもうれしかった。

Tn あ、うれしかったんだね。

Tk 退院する前からいすを喜ばせてあげてもいいんだよ。

Ca 次にひろ君のお母さんが来た。

Tn ふーん、次にひろ君のお母さんが来てくれたんだ。ひろ君のお母さんがいすにすわつてくれたと思う？

Ca おばさんはそのいすに座つてくれてその次におばさんはペンキを持ってきてくれて、そのいすにペンキを塗つてくれた。

Tn そう、それひろ君のお母さん？ そうか、ひろ君のお母さんははげているペンキをぬつてくれたんだ。なるほどね。

Ca だからいすはうれしかった。

Tn どんどん出てきてるよ。がんばれ。他の人も考えて。

Cc そして次にはひろ君が退院してうれしかった。

Tk それは最後でいいから。それ、とつておこう。

Ca その間を考える。

Tn こっち(退院)に行つちやつたら、いすを見る人がいなくなっちゃう。もうちよつと考えて。

Ca ひろ君のお父さんが会社帰りに寄つてきた。

Tn ああ疲れた疲れたつてかな。みんなもやり方がわかつてきたんじゃない？ 一人にまかせないでみんなも頑張ろう。

Tk もう一回窓を見てください。みんなは元気でさあ、毎日毎日海で泳げるじゃない。でもひろ君

は海では泳げないし、学校にも行けないんだよね。

Ca そしたら次にひろ君のお姉ちゃんが座ってくれた。

Tk a君さあ、本当はひろ君はつまらないよ。ずっと病院にいたから何も出来ないんだもん。でもひろ君が君だったらつまらなくないねえ。だって病院にいたってさあ、いろいろできちゃうもん、心は。心でいろいろできちゃうじゃない。だから今日は、みんなに、a君みたいに、何にもできなくて何もでも思えちゃうって、そういう勉強なの。もしかして君はお姉ちゃんいるの？

Ca いない。親戚にはいるけど。もう一つあるんだけど…。

Tk ああ、ごめん。何？

ひろ君のお姉さんが高校の帰りにいすに座ってくれた。

Tk a君にまかせているとどんどん出てきそうだね。もう三人浮かんでいる。

Tn Ca いろんな人が登場してくるね。a君はすごくいいことを言ってくれたの。退院したらひろ君は自由になれるしね。幸せだし、めでたしめでたしだね。でもそれはずーっと先の方に置いておくから、その途中を考えて。ここまでa君が考えたから、私だったらまだこんな楽しいことがあるじゃないかっていうことや、逆につらいことになってもいい。怖いことになってもいい。ちょっと考えてみて。

Tn でも今、いすのことばかり出ているけれども、いすだけじゃないんだよね。ここに用意してあるのはいすだけだけれども、いすの下には？

Ca 砂浜。

Tn 砂浜の向こうには？

Ca 海。

Tn 海もあるんだよ。砂浜や海…全然登場してないね。それも登場させてください。自然のテレビ画面だね、ひろ君から見ればね。このテレビ画面みたいなのに思いついたことを言ってくればいいんだよ。

Ca その次に弟が海に来ていすに水をかけた。潮水。

Tk ちょっと変わったね。

Tn 他にどうかな。いつもいつも浜で、海でみんながやっていることを言ってくれてもいいんだよ。学校のそばに海があるよね。毎日遊んでいるんじゃない？

Ts b子さん、どう？

Cb (笑みを浮かべながら) 海から死んだ女の人と子どもが歩いてきて、そのいすにすわって子どもをあやした。

*さつきわからないと横を向いていた児童である。設定がしつかりとできたら、どんどん思いをのばすようになつた。つまりイマジネーションが次から次へと動き出した。この児童の発言で他の子ども心の風景が語られ始めた。

Tn 背筋がゾツとしてきたね！

Tk 何かワクワクしてきたよ。

Tn うわあ、すごい。特大のホームランが出たね。とたんにこのテレビ画面が面白くなってきたね。

Tk b子さん、続きは？

Cb ……

Tn もう先生、この辺がゾクゾクゾクって…。

Tk なんかな新しいドラマがダーンと…。

Ca b子ちゃんのと違って、別の方で、潮水をかけてあげて、夜になったら海で男の人が泳いでいて、泳いでいたらいきなりそこに子どもの幽霊が出てきた。

Tk 幽霊が子どもなんだね。

Ca その次に…

Tn (ストップをかけて) もつたないから、書いてもらおうかな。

Tk a君のもすごく面白かったし、b子さんのを聞いたらそれをもすごく面白かったし、みんなのもきつ

Tn こんなのを書いたら変かな、なんていうことは全然ないんだからね。

*それぞれワークシートに書き込む。

*席順に発表してもらおう。(発表の間の教師の言葉はほぼ省略)

Cj (男) 死んだ人のゆうれいがでた。それは夜だった。子どももこわくてにげだした。

Cb (女) 夜になって海から女の人と子どもが歩いてきて、いすにすわって子どもをあやした。その夜ひろ君のゆめの中に、あの女の人と子どもがでてきました。つぎの朝、たまたまかごぶさんの話を聞いてしまいました。「あの砂浜は、この病院で入院していて飛び降り自殺した人のゆうれいがあのいすにすわるらしいよ」

それで次の夜、花子さんといっしょに子守歌を歌いながら消えていった。それで見てみると花子さんがあらわれて話をしてくれた。つぎの夜までから見てもゆうれいはいかなかった。ただ聞こえてい

るのは、あの子守歌と波の音。それから一週間たつてとなりで赤ちゃんが生まれて、その赤ちゃんがあの女の人のにっていた。

でもちゃんと幸せになるんじゃない。

Tn その赤ちゃんは女の人の生まれかわりなんだね。すごい。

Ck (女) それから海をずーっと見ていたら、お母さんがうかびあがったように見えて悲しくなった。それから毎日海を見るようになった。

Cd (女) 考え中。

Ch (女) ひろ君のお母さんがおみまいに来てくれら。次の日、海で人が泳いでいた。その人の背中にはゆうれいがのつていた。その日はこわくてねむれなかった。

Cf (女) …

*たたくさん書いていたが発表直前に消してしまう。消したことで面白いと話す、語りたがらないので無理強いしなかった。次のE君も消してしまつていて発表せず。I君は考え中。

Cg (女) a君の続き。子どものゆうれいは、いすに水をかけて、その中から出てきた霊でした。子どもの霊が海で泳いでいた男の人と間違えて恨みました。その男の人は次の日の朝、死んでしまいました。

Tn 恨まれちゃったんだもんね、霊に。何だかゾクゾクしてきたね。

Cc (男) 子どもたちが夜遊んでいた。そして海で死んだ人がゆうれいで出てきた。子どもたちはこわがってあわてて家に帰りました。そしてねたらゆめに死んだ人のゆうれいが出てきました。そしてまたねむれなくなっていました。

* a君が書き途中なので後にまわす。

Ci (女) その日、ひろ君はゆめをみた。そのゆめは、退院して海とかに行って楽しく遊んだゆめだった。その夢を見たからひろ君はそれから元気が出てきた。

Tn 夢で勇気をもらったんだね。

Ci 驚いたことにそれからは苦い薬をいっつきに飲めるようになったし、ちゅうしゃもがんばれるようになった。

Tk 退院が近いね、もう。

Ca その次には海で泳いでいた男の人と子どもがおぼれてしまつて、死んでしまいました。そして、その男の人と子どものゆうれいが出てきて、海で泳ぐ人はみんなおぼれて死んでしまいました。そして朝になりました。そしてひろ君は退院できることとなりました。だけど、ひろ君の病気が広がつてしまつて、手術をして何とか命をとめたけど、また入院してしまいました。それからまた退院して、また入院してのくりかえしをして、とうとうひろ君は最後に死んでしまいました。

Tn ああ、最後にひろ君、死んじやつたんだつて。

Tk じゃあ、さつきの後も考えちやつたんだね。

Tn I子さんみたいにメキメキ元気になったつていうのもあったね。bさんのは海から出てきた女の人。bさんとなつて出てきて…。全然違うお話だよ。消しちゃった人たちもまた書いて二学期にS先生にみせてください。

*授業後に書かれた未発表児童の文

F子 ある日、海を見ていたら子どもが楽しそうに泳いでいたので、つられてひろ君も笑い顔になつ

てとつてもうれしそう。
E君 子どもがそのいすにすわつた。それからどこかに行つたら、動物が集まつてきた。

授業反省より

はじめのはまへの椅子の設定のところでa君がすぐその場面がわかり、私のかわりに説明してくれたので皆にその場面設定ができた。次にひろ君になり思いをのばしていくところが難しいところだが、はじめ横を向いていたb子さんが今度は活躍しはじめた。どんどん思いを伸ばすことができ、そのb子さんに刺激され他の子どもたちも自分の思いを語り始めた。しかも刺激されながらもそれぞれがそれぞれのイマジネーションに動かされた思いを語ることでできた。これはこの授業のテーマ、イマジネーションの継続性・偏向性をみることでできたといえる。と考える。

(Tn中川節子 Tk小林照子)

